

# 田んぼの学校 指導者養成研修のご紹介

岡山県久米南町で行った研修の様子



「田んぼの学校指導者養成研修」は、講義だけではなく実際の体験や参加者同士の情報交換を通じて、体験活動や環境教育の取り組みに活かすことができるノウハウを学びます。

ここでは、平成 22 年度に岡山県久米南町で実施した「田んぼの学校指導者養成研修」をもとに講義、実習の様子をご紹介します。

開催日：平成 22 年 11 月 26 日から 27 日（1泊2日）

研修会場：誕生寺、北庄中央棚田（日本の棚田百選選定）

協力団体：北庄中央棚田天然米生産組合（平成 18 年度 田園自然再生活動コンクール「子どもと生きもの賞」、美の里づくりコンクール「農村振興局長賞」など受賞）

講師：伊東敬子（リードクライム株式会社取締役）

初日（平成22年11月26日）

☆ 集合・受付



岡山での「田んぼの学校」の研修は、国の指定重要文化財の由緒正しきお寺で開催させていただきました。

☆ 参加者を知る、自然体験活動の指導法



境内を使わせていただき、屋外で緊張を解きほぐす簡単な体操やゲーム（「お酒は何党？」）を行いました。・・・日本酒党の方が多かったです。

自然にプログラムに参加できるような“雰囲気づくり”を、体操やゲームなどの体験を通じて学びます。

☆ プログラムづくりの基礎知識等、伝える技術



室内に戻り、自己紹介（「私〇〇に見えますが、実は△△△なんです・・・」）（写真左）のあと、プログラムづくりの基礎知識の講義（写真右）を行いました。

講義だけではなく、ゲームや自己紹介の方法なども地元での取り組みの参考になります。

☆ 夕食



夕食では、精進料理をいただきました。

それにしても、ぼっけー太い梁じゃのう（注：岡山弁で「すごく太い梁ですね」の意）。

☆ 北庄中央棚田天然米生産組合の活動事例の紹介／情報交換会



西川組合長から棚田保全・再生や「田んぼの学校」等の具体的な取組みを発表していただき（写真左）、情報交換会では参加者の方から地元のご紹介をいただきました（写真右）。実は、研修会ではこのような参加者同士の情報交換が非常に大切になります。

2日目（平成22年11月27日）

☆ 北庄中央棚田でのプログラム体験①



生産組合の組合員の方のご案内で、棚田の水利や保全活動、棚田で行っている田んぼの学校をご紹介いただき、地域資源の活用方法やプログラムの実施方法を学びました。

「実際のフィールドにでると色々な発見があり、地元の活動の参考になります」（参加者談）

☆ プログラム体験②



生産組合で子どもたちを対象に行っている「しめ縄飾り」を体験し、子どもたちへの教え方などを学びました（とにかく皆さん真剣でした「しめ縄飾り」づくりに・・・）。

☆ 昼食



地元のお米や野菜たっぷりの手作り料理を婦人会の皆さまに作っていただきました。

☆ 安全管理



意外と意識していない活動における危険回避や緊急時の応急処置の方法を学びました。

☆ まとめとふりかえり

2日間の研修をふりかえり、研修終了です。

参加者の皆さまから、活動が広がった、人のネットワークが出来たなど、研修成果を活かした取り組みのご報告いただいております。この機会にぜひ参加してみたいはいかがでしょうか。

